保証書付

CITIZEN
Micro HumanTech

取扱説明書

コードレス温湿度計
（簡易熱中症指標表示付き）

THD501

- ご使用前に本書を必ずお読みください。
- 本書は保証書を兼ねています。紛失しないよう大切に保管してください。
- ご使用中は必ず本書をお手元に置いてください。

シチズン・システムズ株式会社

目次

ご使用のまえに

測定しましょう

お知らせ

安全上のお願い

ご使用の前に、この「安全上のお願い」をよくお読みください。

⚠ 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合
⚠ 注意	人が傷害を負う可能性が想定される場合

強制 必ず実行していただく「強制」内容です。

禁止 してはいけない「禁止」内容です。

⚠ 警告

強制
● 電池の液が目に入ったり、皮膚に付着したときは、すぐに多量の水で洗い流し、医師の治療を受けてください。

強制
● 子機センサーは微弱ですが電波を使用しているためペースメーカーなどに影響を及ぼす恐れがあります。

⚠注意

禁止

● 本体と子機センサーは、火気、熱気の近くで使用しないでください。本体が熱くなり、やけどをする場合があります。

禁止

● 本体と子機センサーを修理、分解、改造しないでください。ケガおよび故障の原因になります。

禁止

● 本体と子機センサーのすき間や穴、および金具などに指を入れないでください。 事故やケガの原因になります。

禁止

● 電池を入れるときは、極性（＋、－）を確認して正しく入れてください。間違えると、電池の破裂、液もれによる火災やケガ、やけどの原因になります。また、電池を交換するときは、新しいものと交換してください。

禁止

● 指定の電池以外は使用しないでください。電池の破裂、発熱、液もれによる火災やケガ、やけどの原因になります。

禁止

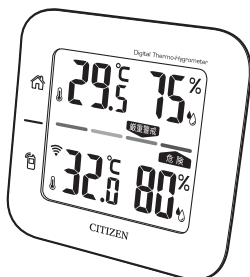
● 本体と子機センサーを廃棄する際は、各自治体のルールに従い廃棄するようにしてください。

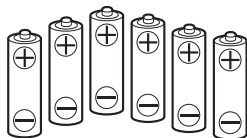
禁止

● 携帯電話やマイクロ波治療器などの近くで使用しないでください。誤動作して正確に測定できない場合があります。

付属品を確認しましょう

以下のものがそろっているかご確認ください。

●本体（親機）

●子機センサー

●単3形アルカリ乾電池 6本（お試し用）

●取扱説明書（保証書付）

（保証書付）

CITIZEN
Micro HumanTech

取扱説明書

コードレス温湿度計
（簡易熱中症指標表示付き）

THD501

- ご使用前に本書を必ずお読みください。
- 本書は保証書を兼ねています。紛失しないよう大切に保管してください。
- ご使用中は必ず本書をお手元に置いてください。

シチズン･システムズ株式会社

目次

ご使用のまえに

測定しましょう

お知らせ

各部のなまえと機能

本　体

■表面

表示部

Digital Thermo-Hygrometer

厳重警戒

危険

CITIZEN

■裏面

電池カバー

壁掛け用穴

スタンド用
スティック

Link

Reset

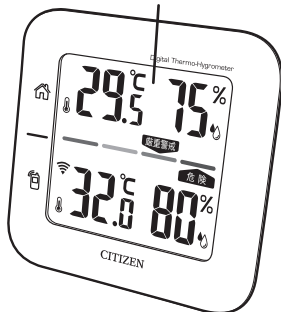
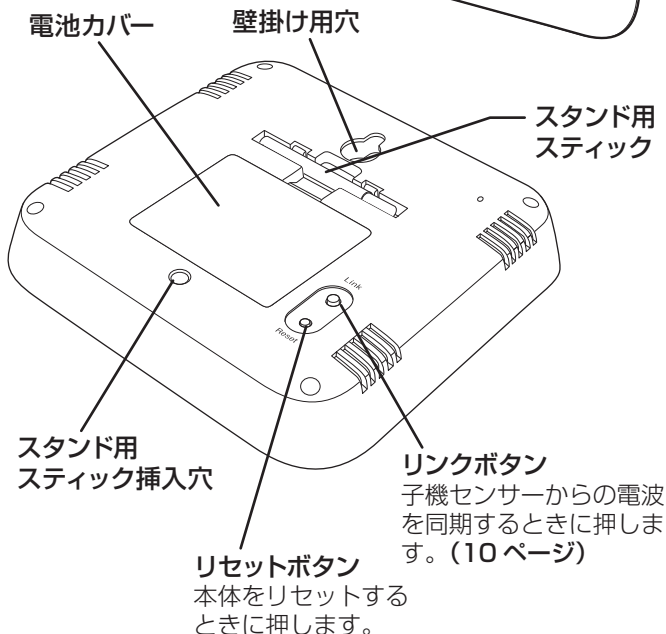
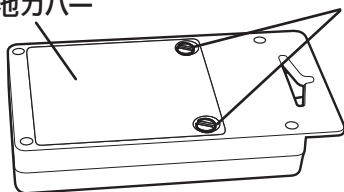
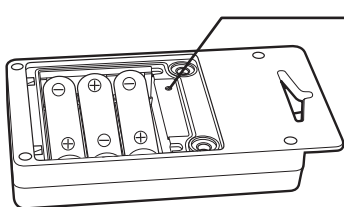
スタンド用
スティック挿入穴

リンクボタン
子機センサーからの電波を同期するときに押します。（10 ページ）

リセットボタン
本体をリセットするときに押します。

各部のなまえと機能

■表面

■裏面

子機センサーをリセットするときに押します。
(21 ページ)

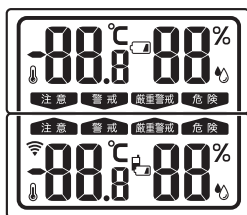
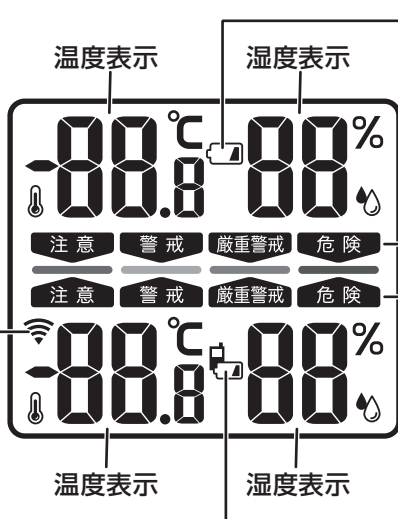
ご使用のまえに

表示部

本体の測定値

子機センサーの測定値

アンテナマーク

子機センサーからの電波の強さを表示します。
良好（📶）、中（📶）、弱（📶）
表示されていないときは、子機センサーからの電波を受信していません。
(10 ページ)

電池消耗マーク

子機センサーの電池が消耗したときに表示されます。
(11 ページ)

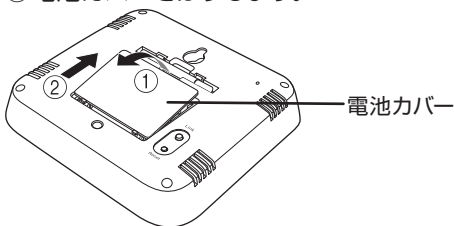
電池を入れます

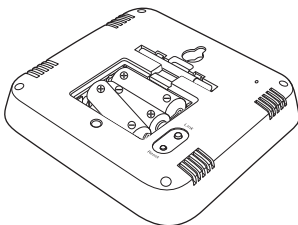
本体と子機センサーに電池を入れます。本体、子機センサーの順で電池を入れてください。

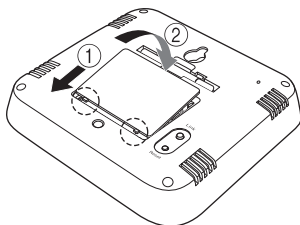
- 本体、子機センサーに電池を入れると表示部に子機センサーの測定結果が表示されるまで、本体と子機センサーの同期が行われます。表示部下部にアンテナマーク（📶）と子機センサーの測定結果が表示されるまでは、ボタン操作を行わないでください。

1　本体に電池を入れましょう

1 本体の電池カバーをはずします

①電池カバーを矢印側に引っ張ります。
②電池カバーをはずします。

2 本体に電池を入れます

⊕⊖の向きに注意して入れてください。
※必ずバネの出ている⊖側から入れてください。

3 本体の電池カバーを閉じます

①電池カバーのツメをくぼみに合わせます。
②「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

● 本体に電池を入れると、表示部が全点灯で表示された後、本体の温度と湿度を表示し、表示部下部が右のように点滅し、子機センサーから送られてくる電波の待機状態になります。
● 表示部下部が点滅している間は、ボタン操作を行わないでください。

■こんなときは電池を交換しましょう

● 本体表示部に［電池］マークが表示されたとき
● 何も表示されなくなったとき

→ 3 本同時に交換しましょう（☞21ページ）

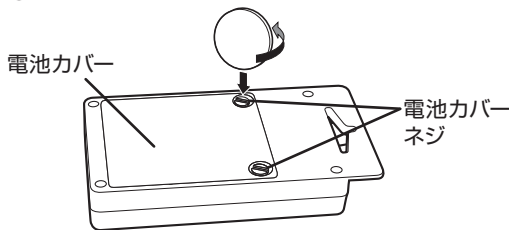
電池を交換するときは、本体と子機センサーの再同期が必要になります。「電池交換のしかた」（☞ 21、22 ページ）の手順にしたがって電池交換を行ってください。

2　子機センサーに電池を入れましょう

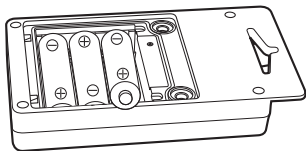
本体に電池を入れた後、約５分以内に子機センサーに電池を入れます。電池を子機センサーに入れると本体へ送信を始めます。

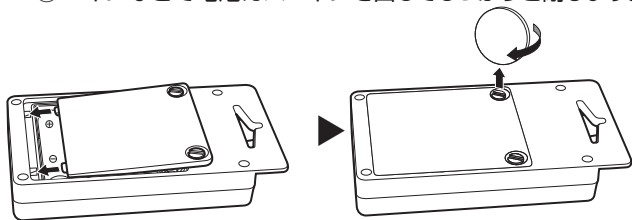
4 子機センサーの電池カバーをはずします

①コインなどで子機センサーの電池カバーネジを回して緩めます。

②電池カバーをはずします。

5 子機センサーに電池を入れます

⊕⊖の向きに注意して入れてください。

※必ずバネの出ている⊖側から入れてください。

6 子機センサーの電池カバーを閉じます

①電池カバーのツメをくぼみに合わせて閉じます。
②コインなどで電池カバーネジを回してしっかりと閉じます。

- 子機センサーに電池を入れると、子機センサー表示部に温度と湿度が交互（約4秒毎）に表示されます。
- 子機センサーに電池を入れると、送信が開始され、本体と子機センサーの同期が行われます。約10秒で同期が完了し、本体の表示部下部にアンテナマーク（ ）と子機センサーの測定結果が表示されます。
- 15秒以上経過しても、表示部にアンテナマーク（ ）と測定結果が表示されない場合は、本体と子機センサーの電池を取りはずし、再度「電池を入れます」（☞7ページ）の手順 **1** からをくり返し電池を入れなおしてみてください。

■こんなときは電池を交換しましょう

- 本体表示部に マークが表示されたとき
- 何も表示されなくなったとき

→ **3 本同時に交換しましょう** **（☞ 22 ページ）**

電池を交換するときは、本体と子機センサーの再同期が必要になります。「電池交換のしかた」（☞ 21、22 ページ）の手順にしたがって電池交換を行ってください。

電池を入れます

こんなときは電池を交換しましょう

■本体

- 本体表示部に［電池］マークが表示されたとき
- 何も表示されなくなったとき

→ 3本同時に交換しましょう(☞21ページ)

■子機センサー

- 本体表示部に［子機電池］マークが表示されたとき
- 何も表示されなくなったとき

→ 3本同時に交換しましょう(☞ 22 ページ)

電池を交換するときは・・・

電池を交換するときは、本体と子機センサーの再同期が必要になります。「電池交換のしかた」(☞ 21、22 ページ) の手順にしたがって電池交換を行ってください。

- 付属の乾電池はお試し用ですので、電池寿命が短い場合があります。
- 単 3 形アルカリ乾電池以外は使用しないでください。
- 充電式の乾電池は使用しないでください。
- ご使用済みの乾電池は、お住まいの自治体のルールに基づいて正しく処分してください。

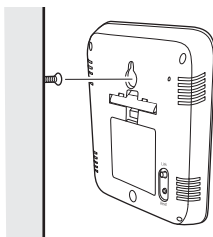
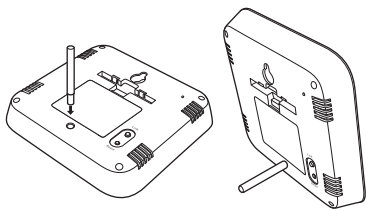
設置しましょう

- 本体および子機センサーは急激な温度変化があった場合、周囲環境になじんだ後（約75分後）、正確な値を表示します。
- 本体および子機センサーの設置する高さや場所により、温度、湿度は変化します。
- 本体および子機センサーの設置場所の温度が−10.0℃以下または50.0℃以上では表示が見えにくくなることがあります。
- 本体および子機センサーは防水構造ではありませんので、直接水のかかるところには設置しないでください。
- 本体および子機センサーは電気的なノイズを発生するところに設置しないでください。

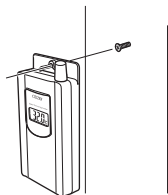
1　本体を設置しましょう

● 直射日光の当たらない場所、エアコンや加湿器などの送風が本体に直接当たらない場所に設置してください。

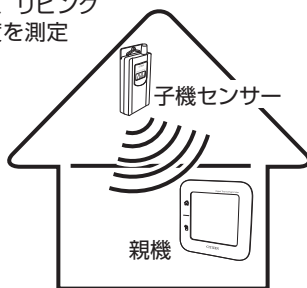
● 本体裏面にスタンド用スティックが付属しています。スタンド用スティックを本体裏面のスタンド用スティック挿入穴に差し込むと、本体を立てて設置できます。

● 壁にネジなどを取り付けて、壁掛け用の穴をネジに掛けて壁に設置できます。

2　子機センサーを設置しましょう

子機センサーは離れた場所の温度、湿度を測定して、本体に測定結果を送信します。

- 子機センサーから本体に測定結果を送信できる距離は見通しの良いところで約30mです。本体と子機センサーの間に、障害物がある場合、電波の伝達距離が短くなります。
- 子機センサーは直射日光の当たらない風通しの良い場所に設置してください。子機センサーと本体の間に厚い壁など電波を遮るものがあると測定結果が送信できない場合があります。
- 子機センサーは直射日光があたらないところ、エアコン室外機、換気扇などの送風の影響を受けないところ、雨や雪が直接かからないところに設置してください。
- 壁にネジなどを取り付けて、壁掛け用の穴をネジに掛けて設置できます。

- 設置後は本体表示部のアンテナマーク（📶）で、電波を良好に受信していることを確認してください。良好に受信していないときは、間に電波を遮るものがないか確認して設置場所を変えてください。

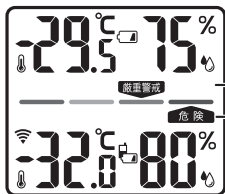
※ 子機センサーの底面のすき間をふさがないように設置してください。すき間をふさぐと正確な温度、湿度が表示されません。

設置例

- 冬は、トイレや洗面所、脱衣所など温度が著しくリビングルームと変化する場所に子機センサーを設置するのも効果的です。

熱中症指標表示について

本体、子機センサーの順に電池を入れると自動的に本体と子機センサーが測定を開始します。温度と湿度の測定結果が表示部に表示されます。

熱中症指標（WBGT）について

熱中症指標（WBGT）は、「注意」、「警戒」、「厳重警戒」、「危険」の４段階で表示されます。熱中症指標（WBGT）は、気温が低くても、湿度が高いと熱中症指標（WBGT）が高くなります。

熱中症指標（WBGT）

熱中症指標（WBGT）は次のように表示されます。「注意」、「警戒」、「厳重警戒」、「危険」が表示されたときは、「日常生活における熱中症予防指針」を参考に熱中症を予防してください。

●日常生活における熱中症予防指針

温度基準（WBGT）	注意すべき生活活動の目安	注意事項
危険	すべての生活活動でおこる危険性	高齢者においては安静状態でも発生する危険性が大きい。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。
厳重警戒		外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。
警戒	中等度以上の生活活動でおこる危険性	運動や激しい作業をする際は定期的に充分に休息を取り入れる。
注意	強い生活活動でおこる危険性	一般に危険性は少ないが激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。

出典：日本生気象学会「日常生活における熱中症予防指針」Ver.1

●熱中症指標（WBGT）と気温、湿度の関係

相対湿度（%）

気温（℃）（乾球温度）	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100
40	29	30	31	32	33	34	35	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44
39	28	29	30	31	32	33	34	35	35	36	37	38	39	40	41	42	43
38	28	28	29	30	31	32	33	34	35	35	36	37	38	39	40	41	42
37	27	28	29	29	30	31	32	33	35	35	35	36	37	38	39	40	41
36	26	27	28	29	29	30	31	32	33	34	34	35	36	37	38	39	39
35	25	26	27	28	29	29	30	31	32	33	33	34	35	36	37	38	38
34	25	25	26	27	28	29	29	30	31	32	33	33	34	35	36	37	37
33	24	25	25	26	27	28	28	29	30	31	32	32	33	34	35	35	36
32	23	24	25	25	26	27	28	28	29	30	31	31	32	33	34	34	35
31	22	23	24	24	25	26	27	27	28	29	30	30	31	32	33	33	34
30	21	22	23	24	24	25	26	27	27	28	29	29	30	31	32	32	33
29	21	21	22	23	24	24	25	26	26	27	28	29	29	30	31	31	32
28	20	21	21	22	23	23	24	25	25	26	27	28	28	29	30	30	31
27	19	20	21	21	22	23	23	24	25	25	26	27	27	28	29	29	30
26	18	19	20	20	21	22	22	23	24	24	25	26	26	27	28	28	29
25	18	18	19	20	20	21	22	22	23	23	24	25	25	26	27	27	28
24	17	18	18	19	19	20	21	21	22	22	23	24	24	25	26	26	27
23	16	17	17	18	19	19	20	20	21	22	22	23	23	24	25	25	26
22	15	16	17	17	18	18	19	19	20	21	21	22	22	23	24	24	25
21	15	15	16	16	17	17	18	19	19	20	20	21	21	22	23	23	24

WBGT値	注意 25℃未満	警戒 25～28℃	厳重警戒 28～31℃	危険 31℃以上
	 	警 戒 警 戒	厳重警戒 厳重警戒	危 険 危 険

出典：日本生気象学会「日常生活における熱中症予防指針」Ver.1

熱中症と予防について

特に注意を要する事項

1 **幼児・学童**は体温調節機能が未発達であり、適切な水分・塩分の補給は保護者によって行われるため、保護者の対応が不適切になると発症しやすい。

2 **65歳以上の高齢者、特に75歳以上の後期高齢者**は発汗能や口渇感等、体温調節機能が低下する。このために熱中症を発症しやすい。

3 **肥満者**は、より体温が上昇しやすい傾向にあるため、熱中症を発症しやすい。

4 **仕事や運動（スポーツ）に無理をしすぎる人、頑張りすぎる人**は熱中症を発症しやすい。

5 **基礎疾患（高血圧、心疾患、慢性肺疾患、肝臓病、腎臓病、内分泌疾患など）のある人、寝たきりの人。熱中症の発症を助長する以下のような薬を服用している人。**抗コリン作用のある薬（鎮痙薬*、頻尿治療薬*、パーキンソン病治療薬*、抗ヒスタミン薬、抗てんかん薬、睡眠薬・抗不安薬、自律神経調節薬、抗うつ薬、β遮断薬、ある種の抗不整脈薬、麻薬）は発汗抑制を来たす可能性がある。利尿剤は脱水を来たしやすい。
興奮剤・覚せい剤は代謝を亢進させる。多くの抗精神病薬*は体温調節中枢を抑制する可能性がある。
　* 医薬品添付文書に、「発汗（あるいは体温調節中枢）が抑制されるため、高温環境では体温が上昇するおそれがある」との記載のあるもの。

6 **発熱、下痢、二日酔い等、体調不良**の場合は発症しやすい。

7 **農作業、安全対策作業等で厚着、安全服等で全身を覆う**場合。

8 **急激に高温となった場合**（例えば6月以前）。また、日常生活で高温暴露の経験が少ない場合、旅行や移動（涼しい場所から高温の場所へ）の場合および気象変化などで急激に高温となった場合など。

出典：日本生気象学会「日常生活における熱中症予防指針」Ver.1

お知らせ

水分・塩分補給の目安

1 **日常生活における水分補給：**基本的に、不感蒸泄や発汗による水分の補給が必要である。睡眠時、入浴時にも発汗する。就寝前、起床時、入浴前後にコップ一杯（約200ml）の水分を補給する。
日中はコップ半分程度の水分を定期的に（1時間に1回程度）補給する。
のどの渇きを感じる前に水分補給を心掛ける。特に高齢者は口渇感等の感覚が衰えており、十分に注意する必要がある。

2 **運動時や作業時の補給：**水分の補給量は体重減少量の7〜8割程度が目安となる。体重の 2%以上の脱水を起こさないよう注意する。大量に発汗する運動時や作業時には水分と同時に塩分補給が重要である。0.2%程度の塩分を含む水分を補給するよう心掛ける。
作業前：コップ1〜2杯程度の水分・塩分を補給する。
作業中：コップ半分〜1杯程度の水分・塩分を20〜30分ごとに補給する。
作業後：30分以内に水分・塩分を補給する。

3 **飲酒時の補給：**アルコールは利尿作用が強く、飲酒量以上の水分を排泄するので、飲酒後は、水分を十分に補給する。

4 **空調装置使用時の補給：**室内は空気が乾燥することから、気がつかないうちに脱水が生じる。こまめに水分を補給する。

出典：日本生気象学会「日常生活における熱中症予防指針」Ver.1

温度と湿度の管理について

冬

■湿度を 50 ～ 60%に保ちましょう

インフルエンザウイルスは、湿度が低くなると繁殖が活発になります。湿度を 50 ～ 60%に保つとインフルエンザウイルスの繁殖を抑制する効果があります。加湿器などで室内を適度な湿度に保ちましょう。

■冬は乾燥に注意

冬は乾燥しやすい季節です。また、エアコンなどにより室内も乾燥しやすくなります。乾燥した状態が続くとのどや気管支の防御機能が低下し、かぜなどをひきやすくなったり、インフルエンザウイルスなどへの抵抗力も低下してしまいます。加湿器などで室内の湿度を適度に調整するとともに、適度な水分補給に努めましょう。

暖め過ぎ、冷やし過ぎは控えましょう!

適度な温度に保って、省エネにも配慮しましょう。お子様や、お年寄り、男性、女性では体感温度が異なります。状況に応じて、こまめに温度の調節を行ってください。

夏

■除湿に心がけましょう

湿度が高くなると、カビ、ダニなどが繁殖しやすくなり、食中毒の原因ともなります。窓を開けて室内の風通しを良くしたり、キッチンのトビラなどもときどき開けて、除湿に心がけましょう。

■クーラー病に注意しましょう

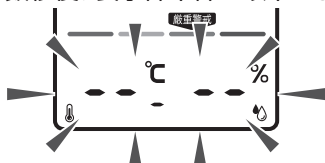
真夏、エアコンで冷やしすぎると身体の熱を調整する能力が低下し、クーラー病にかかりやすくなります。室内温度と外気温の差は、5℃前後が目安です。真夏は、エアコンの冷やし過ぎに注意しましょう。

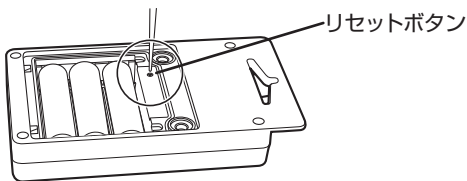
電池交換のしかた

本体の電池交換のしかた

1 本体の電池カバーをはずし、電池を取り出す

2 本体に新しい電池を入れてカバーを閉じる

数秒後、表示部下部が以下のように点滅します。

3 子機センサーの電池カバーをはずす

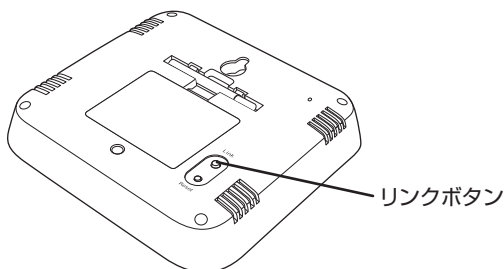
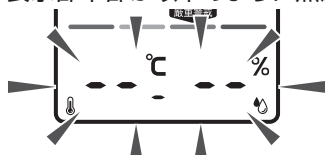
4 子機センサーのリセットボタンを押す

5 子機センサーの電池カバーを閉じる

子機センサーが送信を開始します。約10秒以内に表示部下部に測定結果とアンテナマーク（ ）が表示されます。

※表示部下部に測定結果とアンテナマーク（ ）が表示されない場合は、手順 4 で電池を取りはずし、**約 1 分経過後**に電池を戻してください。

子機センサーの電池交換のしかた

1 子機センサーの電池カバーをはずし、電池を取り出す

2 本体のリンクボタンを3秒以上押す

表示部下部が以下のように点滅します。

3 子機センサーに新しい電池を入れてカバーを閉じる

子機センサーが送信を開始します。約10秒以内に表示部下部に測定結果とアンテナマーク（ ）が表示されます。

温度・湿度の異常表示について

温度や湿度の値が高い場合や低い場合、表示部に次のように表示されます。

温度、湿度の条件	表示部
温度が－30℃以下の場合 （湿度は表示されません。）	Lo ℃ -- %
温度が－30.1℃以上～0.0℃未満の場合 （湿度は表示されません。）	-0.1 ℃ -- %
温度が60℃以上の場合 （湿度は表示されません。）	HI ℃ -- %
湿度が20％以下の場合	25.8 ℃ Lo %
湿度が90％以上の場合	25.8 ℃ HI %

故障かな？と思ったら

修理、サービスに出される前に、次の点をご確認ください。

こんなとき	確認するところ	直しかた
何も表示しない	電池が消耗していませんか？	新しい電池と交換してください（☞ 21、22 ページ）
	電池の＋－の向きが間違っていませんか？	電池を正しい向きに入れてください（☞ 7、9、21、22 ページ）
アンテナマーク（ ）が表示されていない	子機センサーの電波の受信状態が悪い状態または受信していない状態が 1 時間以上経過しています	子機センサーと本体の距離を 30m 以内にしてください
		子機センサーからの電波を遮っているものを除いてください
Er ℃ Er % が表示される	子機センサーの電波を 1 時間以上受信していません	子機センサーの電池を新しい電池と交換してください（☞ 22 ページ）
--.- ℃ -- % が表示される	5 分経過しても、本体が子機センサーからの電波を受信していません	再度、本体のリセットボタンを押してから、子機センサーのリセットボタンを押してください
		上記で解決しない場合は、本体と子機センサーの電池を取り出し、再度電池を入れ直してください

◆故障を発見した場合はただちに使用を中止し、分解せず、販売店または

シチズン･システムズ株式会社

お客様相談室

にお問い合わせください。

商品に関するご相談、お問い合わせは、
弊社 お客様相談室 でお受けいたします。
受付時間： 10 ～17時
月～金（祝祭日、年末年始を除く）

0120-88-6295

通話料金は無料です。

E-mail:support@systems.citizen.co.jp
http://www.citizen-systems.co.jp

お知らせ

製品仕様

販　売　名	コードレス温湿度計（簡易熱中症指標表示付き） THD501
本体	
表　示	デジタル表示方式
熱中症指標表示	「注意」、「警戒」、「厳重警戒」、「危険」 の4段階表示
温度測定範囲	−30.0℃～60.0℃※1
温度最小表示	0.1℃
温度測定精度	±1℃（0.1～39.9℃）/ ±2℃（−30.0～0.0℃、40.0～60.0℃）
湿度測定範囲	20%～90%
湿度最小表示	1%
湿度測定精度	±5%（31～80%）/ ±10%（20～30%、81～90%） それぞれ温度20℃～30℃の場合
測定間隔	約1分
電　源	DC4.5V（単3アルカリ乾電池3本）
電池寿命	約1年
寸　法	幅148×高さ140×奥行25mm
質　量	約220g（電池含まず）

※1 本体および子機センサーの設置場所の温度が−10.0℃以下または50.0℃以上では表示が見えにくくなることがあります。

子機センサー

項目	仕様
表示	デジタル表示方式
温度測定範囲	−30.0℃〜60.0℃※1
温度最小表示	0.1℃
温度測定精度	±1℃(0.1〜39.9℃)/ ±2℃(−30.0〜0.0℃、40.0〜60.0℃)
湿度測定範囲	20%〜90%
湿度最小表示	1%
湿度測定精度	±5%(31〜80%)/ ±10%(20〜30%、81〜90%) それぞれ温度20℃〜30℃の場合
測定間隔	約1分
設置距離	約30m(遮蔽物のない、見通しのよい空間距離)
構造	防滴構造
電源	DC4.5V(単3アルカリ乾電池3本)
電池寿命	約1年
寸法	幅65×高さ122×奥行22mm
質量	約85g(電池含まず)

共通

項目	仕様
付属品	単3形アルカリ乾電池6本(お試し用)、 取扱説明書(保証書付)

※本製品、及び取り出した古い電池を廃棄する場合は、お住まいの自治体のルールに基づいて正しく処理してください。

※本製品内部には、工事設計認証された無線機器(工事設計認証番号:004YVA0050)が搭載されています。

※ 本製品は改良のため、予告なしに仕様変更する事があります。

保証規定

つぎのような場合には保証期間内でも有料修理になります。

- 誤ったご使用またはお取扱いによる故障または損傷。
- 保管上の不備によるもの、およびご使用者の責に帰すと認められる故障または損傷。
- 火災、地震、水害、異常電圧、指定以外の電源およびその他の天災地変や衝撃などによる故障または損傷。
- 保証書のご提示がない場合。
- 保証書のご購入日、ご購入店名などの記載に不備がある場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
- ご使用後の外装面のキズ、破損、外装部品、付属品の交換。

※お買い上げの販売店または弊社にご持参いただくに際しての諸費用は、お客様にてご負担願います。

- 保証書の再発行はいたしませんので大切に保管してください。
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。

保証書　持込修理

CITIZEN
Micro HumanTech

このたびは、コードレス温湿度計（簡易熱中症指標表示付き）をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。取扱説明書にもとづく通常のお取扱いにおいて、万一保証期間内に故障が生じました場合は、本保証書を現品に添えて、お買上げの販売店または弊社までご持参ください。保証期間内に限り、無料にて修理・調整させていただきます。お客様にご記入いただいた本保証書は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検のために記載内容を利用させていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。

販 売 名	**コードレス温湿度計（簡易熱中症指標表示付き）　THD501**
お 客 様 お 名 前	様　TEL　－　－
ご 住 所	〒

※以下につきましては、必ず販売店にてご記入、ご捺印をお願いいたします。

ご購入日	年　月　日
ご購入店	
保証期間	ご購入日より1年間

シチズン･システムズ株式会社

〒188-8511 東京都西東京市田無町6-1-12

検査証：本製品は弊社の定められた検査に合格しております。

1201

商品に関するご相談、お問い合わせは、弊社お客様相談室でお受けいたします。

シチズン･システムズ株式会社
お客様相談室

受付時間：10～17時
月～金（祝祭日、年末年始を除く）

0120-88-6295
通話料金は無料です

E-mail:support@systems.citizen.co.jp　http://www.citizen-systems.co.jp

CITIZENはシチズンホールディングス株式会社の登録商標です。